

早稲田大学 教育学部
2023年度 入試問題の訂正内容

<教育学部 一般選抜>

【日本史】

●問題冊子3ページ：設問Ⅰ 問7 選択肢才

(誤) 平安時代には, . . .

(正) 奈良時代には, . . .

●問題冊子15ページ：設問Ⅴ 会話文4行目

(誤) GHQには民生局というのがあって . . .

(正) GHQには民政局というのがあって . . .

採点について

このことによって解答への影響はないものと判断し、
採点において特別な措置は講じないことといたします。

●問題冊子15ページ：設問Ⅴ 問4

設問に対する適切な解答がありませんでした。当該箇所の設問につきましては、解答の有無・内容にかかわらず、受験者全員に得点を与えることといたします。

以上

日 本 史

(問 題)

2023年度

〈2023 R05170015 (日本史)〉

注 意 事 項

- 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
- 問題は2～16ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
- 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
- マーク解答用紙記入上の注意
 - 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input checked="" type="radio"/> 悪い	<input checked="" type="radio"/> 悪い

- 記述解答用紙記入上の注意
 - 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

- 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
- 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
- いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、下記の問1～8に答えよ。問1～2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～8については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

古代に日本と新羅の間では、新羅使や遣新羅使と呼ばれる外交使節が行き来した。新羅使は779年まで来航し、遣新羅使は836年まで派遣されていることが日本の史料から確認できるが、これらの使節の実態については分かっていないことも多い。特に遣新羅使については、新羅滞在中の記録が日本のみならず朝鮮半島の史料にもほとんど見えない。これは、新羅の国史は12世紀に編纂された『三国史記』に依らざるを得ないという史料学的限界も関係している。遣隋使や遣唐使についての記述が、中国の史料にも様々のこざれているのと対照的である。

遣新羅使について正史から知ることのできる情報は多くなく、例えば736年2月に任命された遣新羅使について『続日本紀』では、出発後、翌年正月に帰国して入京するまでの道中についての記述はない。

一方で『万葉集』巻十五には、「遣新羅使人等、別れを悲しみて贈答し、海路に及んで情を働めて思ひを陳ぶ。所に当たりて誦ひし古歌を并せたり」としてこの遣新羅使に関する歌が、①～⑤など145首も採録されている。

- ① 武庫の浦の入江の渚鳥羽ぐくもる君を離れて恋に死ぬべし
(武庫の浦の入江の洲に巣くう水鳥が子を羽に包むように、大事にしてくださったあなたから引き離されたら、私は恋しくて死んでしまうでしょう。)
- ② 秋さらば相見むものを何しかも霧に立つべく嘆きしまさむ
(秋になったら逢えるのに、どうして霧となって立ちこめるほど嘆かれるのか。)
- ③ 夕さればひぐらし来鳴く生駒山越えてそ我が来る妹が目を欲り
(夕方になるとひぐらしが来て鳴くさびしい生駒山を越えて、私は向かう。もうひと目いとしいあの人に逢いたくて。)
- ④ 妹に逢はずあばすべなみ岩根踏む生駒の山を越えてそ我が来る
(いとしいあの人に逢わないでいるとやるせないなので、岩を踏みしめるような険しい生駒山を越えて私は向かう。)
- ⑤ 夕されば秋風寒し我妹子が解き洗ひ衣行きて早着む
(夕方になると秋風がひとしお身に染みる。私のいとしいあの人解き洗いしてくれた着物を、早く着たい。)

①の歌にみえる武庫の浦は兵庫県の武庫川の河口付近で、難波を發った遣新羅使の最初の宿泊地であったようだ。このように使人たちは新羅へと向かう途中、各地の歌を詠んだり贈答したりしたため、一行は明石の浦(兵庫県明石市)、家島諸島(兵庫県姫路市)、倉橋島(広島県呉市)、屋代島(山口県周防大島町)、熊毛の浦(山口県上関町)などの瀬戸内海の港や島々を経て筑紫へと至り、さらに糸島半島や東松浦半島沖の神集島(佐賀県唐津市)にて停泊した後、**A**と対馬を経て新羅へと渡ったことが分かる。

『万葉集』からこの遣新羅使の動きを追っていくと、春に遣新羅使が任命された後、②の歌が詠まれているが、この贈答歌の後には③、④の2首が載り、④には「しましく私家に還りて思ひを陳ぶ」という注が付けられている。「しましく」は「しばらく」という意味であり、その後この遣新羅使は瀬戸内海を西へと出発したようだ。しかし⑤の歌が往路の筑紫で詠まれているので、彼等の旅路は順調ではなかったらしい。

『続日本紀』には、大使・副使・大判官・少判官の4人しか使人として名が見えないが、『万葉集』の歌の中には作者の名前が記されているものもある。また『続日本紀』には、帰路に大使阿倍継麻呂が対馬にて没したこと、副使大伴三中也病気のために帰国後の入京が遅れたことが記されているが、『万葉集』には「**A**の島に到りて、雪連宅満のたちまちに鬼病に遇ひて死去せし時に作る歌」が詠まれており、大使ら以外で一行に含まれていた人物の動向を知ることができる。なお、継麻呂の死去や三中・宅満の病は、737年に藤原四兄弟が相次いで死去するなど各地で猛威を振るった疱瘡(天然痘)と関係しているとも言われる。

このように『万葉集』からは遣新羅使のあり方や使人たちの悲哀を窺うことができ、正史にはあらわれない貴重な情報を伝えているのである。

問1 下線部 b に関連して、『三国史記』は朝鮮半島に鼎立した3国の歴史を紀伝体で記したものであるが、3国のうち新羅以外の2国の国名を漢字で記せ。

問2 空欄

A

 にあてはまる島の名を、現在の一般的な漢字表記で記せ。

問3 下線部 a に関連して、両者の関係について述べた文として、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 筑紫国造磐井は、大王軍と連携して新羅を攻撃した。
- イ 倭と新羅の連合軍は、白村江の戦いで唐に敗れた。
- ウ 新羅は渤海と友好関係にあり、渤海と日本が国交を結ぶのを仲介した。
- エ 9世紀半ば以降、日本と新羅の間では人や物の往来はなくなった。
- オ 藤原仲麻呂は新羅攻撃を計画した。

問4 下線部 c に関連して、遣隋使に関する史料として正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 封国は偏遠にして、藩を外に作す。昔より祖禰躬ら甲冑を擐き、山川を跋涉して寧処に違あらず。東は毛人を征すること五十五国、西は衆夷を服すること六十六国、渡りて海北を平ぐること九十五国。
- イ 榮叡・普照、大明寺に至り、大和尚の足下に頂礼して、具さに本意を述て曰く、仏法東流して日本国に至る。其の法有りとも雖も法を伝ふるの人無し。(中略) 願はくは、大和尚東遊して化を興したまへ。
- ウ 倭の国王帥升等、生口百六十人を献じ、請見を願ふ。
- エ 倭王あり、姓は阿每、字は多利思比孤、阿鞞羅彌と号す。使を遣して闕に詣る。(中略) 使者言う、倭王は天を以て兄と為し、日を以て弟と為す。(中略) 高祖曰く、此れ太だ義理なし。
- オ 倭の女王、大夫難升米等を遣し郡に詣り、天子に詣りて朝献せんことを求む。太守劉夏、吏を遣し、將て送りて京都に詣らしむ。

問5 下線部 d に関連して、①～⑤の歌から読み取れることはどれか。一つ選べ。

- ア これらの歌は、新羅にて披露するために詠まれた。
- イ これらの歌は、帰国後に大使によって天皇に献上される予定であった。
- ウ この遣新羅使は当初、任命された年の秋までには帰国する予定だった。
- エ この遣新羅使の使人たちは、筑紫までは妻を同伴していた。
- オ この遣新羅使は平城京から難波へ移動し、到着後すぐに武庫の浦へ向けて出発した。

問6 下線部 e に関連して、古代の難波について述べた文として、誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 橘奈良麻呂の変の後に、遷都が繰り返される中で都がおかれた場所の一つである。
- イ 厩戸王によって四天王寺が創建された。
- ウ 難波津は平城京の外港としての役割を果たした。
- エ 大化改新に際して、孝徳天皇によって大王宮がおかれた。
- オ 奈良時代に摂津職によって所管された。

問7 下線部 f に関連して、瀬戸内海沿岸地域について述べた文として、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 寒冷化が進んだ縄文時代には、瀬戸内海は陸地化していた。
- イ 弥生時代には、紫雲出山遺跡にみられるような高地性集落が多くつくられた。
- ウ 古墳時代には、吉備地方に箸墓古墳のような巨大な前方後円墳が築かれた。
- エ 7世紀後半、讃岐平野に古代山城の大野城が築かれた。
- オ 平安時代には、公當田が設けられた。

問8 下線部 g に関連して、武智麻呂・房前・宇合・麻呂の四人の兄弟は、それぞれ藤原氏の四家の祖となったが、藤原氏の人物と出身の家の組み合わせとして、正しいものはどれか。一つ選べ。

ア 仲成—京家

イ 基経—式家

ウ 緒嗣—北家

エ 冬嗣—南家

オ 百川—式家

Ⅱ 次の会話文は、写真1・2および史料を見ている高校の生徒と教師の会話である。これを読んで、下記の問1～8に答えよ。問1～6については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。問7～8については、解答を記述解答用紙に記入せよ。

教師 「浄土宗を開いた法然のことは知っているね。写真1は鎌倉時代後期に制作された、法然の生涯を描いた絵巻物の一場面だよ」

生徒A 「これはどういう場面でしょうか。何だか物々しいのですが」

生徒B 「鎧に身を固めた武士たちが誰かの屋敷を襲っているようにみえます」

生徒C 「これはもしかして、法然の屋敷ですか？ 法然は弾圧されて流罪になったと、授業で習いました」

教師 「お、いいところに気付いたね。ではこの場面がどんな場面なのか、詞書をみてみることにしよう。次の史料がその詞書の一節だよ」

〈史料〉

そもそも上人は、美作国久米南条、稲岡荘の人なり。父は久米の押領使、^a漆の時国、母は秦氏なり。(中略)かの時国は、先祖を尋ぬるに、仁明天皇の御後、西三条右大臣光公の後胤、式部大輔源の年、陽明門にして蔵人兼高を殺す。その科によりて美作国に配流せらる。こゝに当国久米の押領使、神戸の大夫、漆の元国が女に嫁して男子を生ましむ。元国、男子なかりければ、かの外孫を以て子として、その跡を継がしむる時、源の姓を改めて、漆の盛行と号す。盛行が子・重俊、重俊が子・国弘、国弘が子・時国なり。これによりて、かの時国、いささか本姓に慢ずる心ありて、当荘の預所、明石の源内武者定明伯耆守源長明が嫡男、堀河院御在位の時の^bなりを侮りて、執務に従わず、面謁せざりければ、定明深く遺恨して、保延七年の春、時国を夜討ちにす。

*字句を一部、書き改めた箇所がある。

生徒A 「法然の父は押領使であったと書いてありますね」

生徒C 「押領使？」

生徒B 「何か聞いたことある…、あ、武士の登場のところで出てきた用語だ！」

生徒C 「と言うことは、法然って、武士の家の生まれなの？」

教師 「そういうことになるね」

生徒B 「そしてその法然の父が夜討ちに遭ったと書いてありますね。ひどいなあ。この場面では、鎧などを着ずに戦っているのが法然の父たちということですね」

教師 「そうなんだね。法然がまだ若い学僧であった時期に起こった保元の乱では、源義朝が夜討ちによる先制攻撃を提案して貴族たちを尻込みさせたけれど、武士たちの間では、夜討ちは普通の軍事作戦のひとつであったことが分かるね」

生徒A 「ひとつの荘園に二つの武士の家があって、それらが争っていたというわけですね」

生徒C 「それにしても、明石定明の軍勢はいとも簡単に法然の父の屋敷に乗り込んできましたね。武士の屋敷というと、教科書などでも防御性の高さが強調されているように思いますけど」

教師 「いいところに気付いたね。今度は写真2の絵巻物を見よう。これは鎌倉時代後期に制作された一遍聖絵の信濃国佐久郡、大井太郎という武士の屋敷を描いた場面だよ。写真1・2を見ながら、武士の館の特徴について考えてみよう」

問1 下線部 a に関連して、法然と同様に対立する勢力から弾圧されたものの、流罪には至らなかった僧は誰か。一人選べ。

- ア 日蓮 イ 明恵 ウ 道元 エ 親鸞 オ 貞慶

写真 1

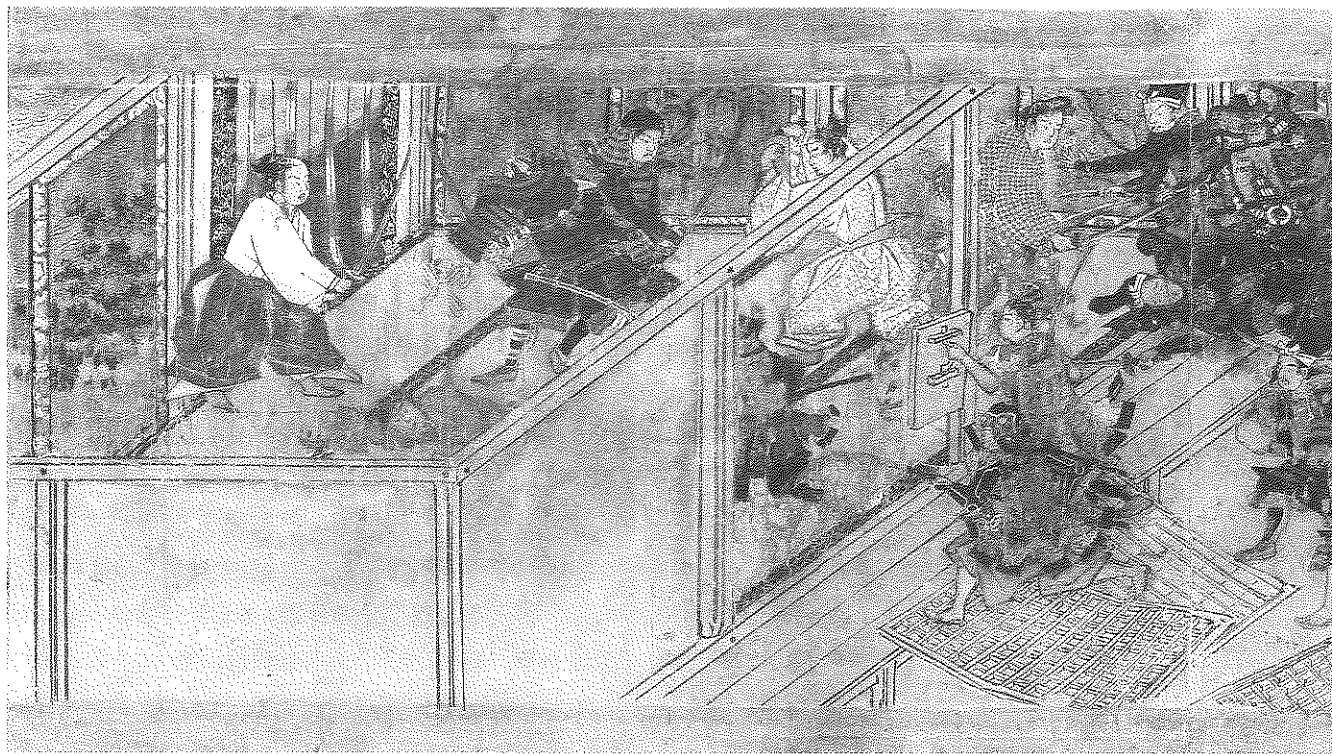
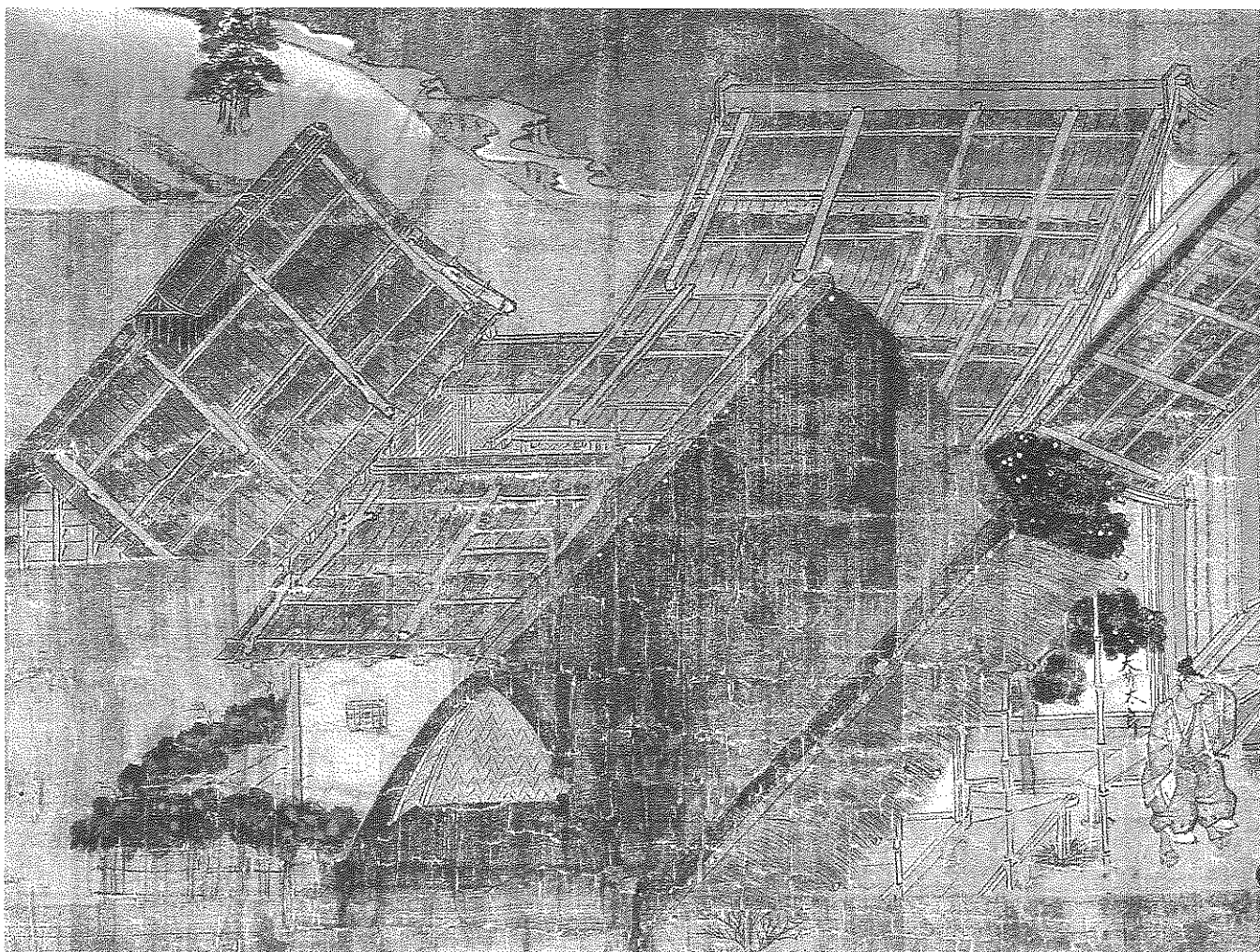
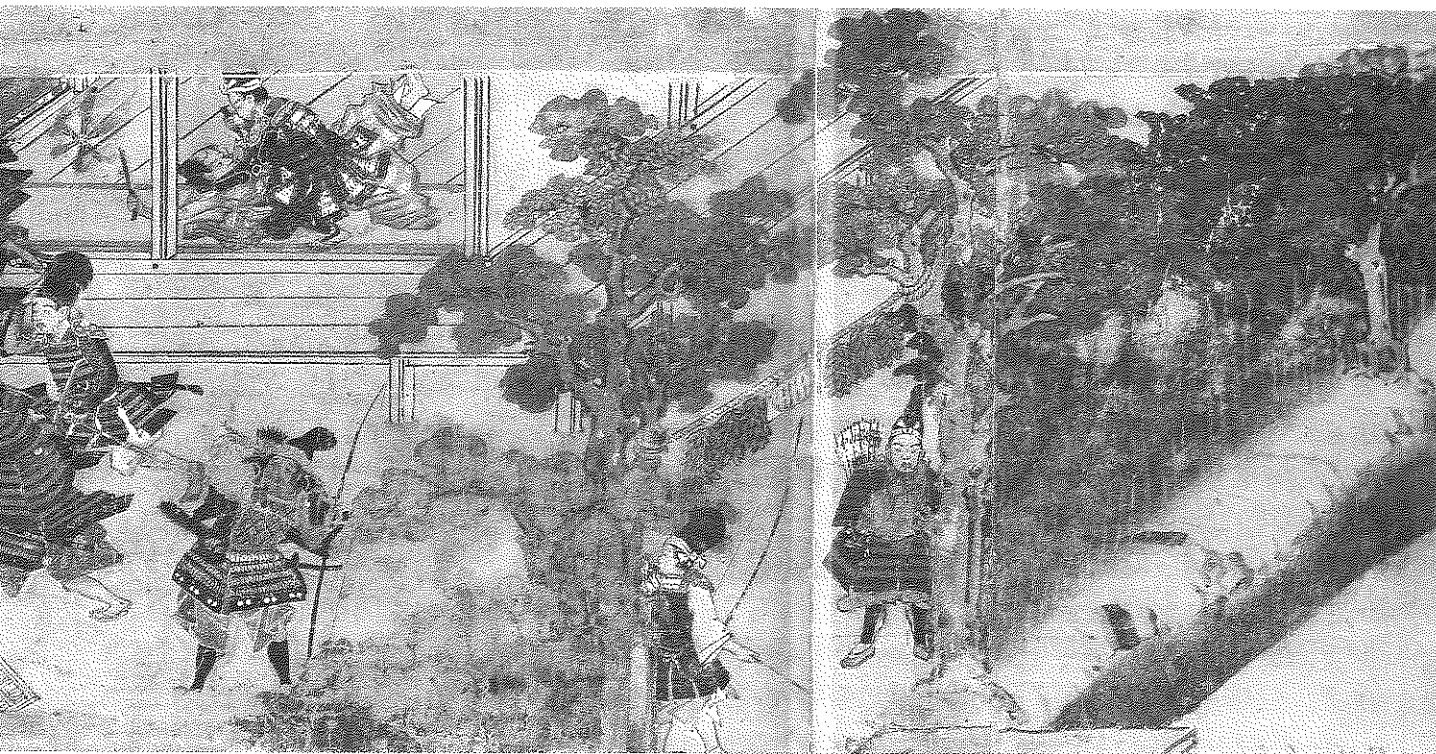


写真 2





問2 下線部 b についての説明として、誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 平安時代に設置された令外官である。
- イ 常置の職として当初から諸国に設置された。
- ウ 平将門の乱を鎮圧した藤原秀郷も押領使であった。
- エ 盗賊の逮捕や反乱の鎮圧を職務とした。
- オ 地域で活動する有力武士がこれに採用された。

問3 下線部 e についての説明として、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 任国に赴いた国司の最上席者である。
- イ 荘園や郷に設置され、現地における年貢徴収や治安維持などを任務とした。
- ウ 国衙に駐在してその業務に従事した役人である。
- エ 荘園の領主から現地の支配を委託された開発領主らがこの職に任じられた。
- オ 荘園において、割り当てられた年貢の納入の義務を負わされた。

問4 下線部 f についての説明として誤っているのはどれか。一つ選べ。

- ア 後白河上皇の近臣・藤原信頼の働きかけにより平治の乱を起こした。
- イ 保元の乱では父の源為義を斬首した。
- ウ 鎌倉五山の浄妙寺は義朝の屋敷跡に建立された。
- エ 保元の乱では後白河天皇方として戦った。
- オ 平治物語絵巻には義朝が三条殿に火を放った場面が描かれている。

問5 下線部 g について、鎌倉時代の武士の館の特徴として写真 1・2 から読み取れることはどれか。すべて選べ。

- ア 屋根に瓦が葺かれた複数の建物が立ち並ぶ豪壮なたたずまいであった。
- イ 門には扉がなく、堀すらない場合もあり、防御性には多様な実態があった。
- ウ 屋内の部屋には畳が敷かれ、障壁画が描かれた障子に仕切られた部屋もあった。
- エ 主屋にはひさし廂も縁側もなく、きわめて質素な造りであった。
- オ 簡単には飛び越えられない大きな堀や、人の背丈を越える堅固な土塁で囲われていた。

問6 次のア～オの文章の中で、〈史料〉に述べられていないことはどれか。一つ選べ。

- ア 法然の先祖は西三条右大臣と呼ばれた人物である。
- イ 法然の先祖は、もともと源を名乗っていたが、後に母方の姓である漆を名乗った。
- ウ 法然の父を襲ったのは受領の子であり、稲岡荘の荘官であった。
- エ 法然の父が押領使であったのは、先祖の母方の官職を受け継いだからである。
- オ 法然の父は、先祖が殺人の科により美作国に流罪となったことを恥じていた。

問7 には、宮中の清涼殿北東の を詰め所とし、宮中の警護を任務とした武士の名称が入る。 に入る語を漢字で記しなさい。

問8 下線部 e の年、鳥羽上皇は出家して法皇となり、同じ年、子の天皇を強引に譲位させて、寵愛する美福門院が産んだ近衛天皇を即位させたことが、保元の乱の遠因となった。譲位させられたこの天皇は誰か。漢字で記せ。

Ⅲ 次の文章とそれに関連する史料を読み、問1～10に答えよ。問1～2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～10については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の番号をマークせよ。

下記の〈史料〉を書いたのは、幕末に盛岡藩で起きた^{さんへい}三閉伊一揆の頭取の一人とされた、三浦命助という百姓である。陸奥国閉伊郡栗林村の村役人の家に生まれた命助は、17歳のとき、秋田藩の **A** の鉾山に出稼ぎに出るという経験をした後、父の死亡により19歳で家を継いだ。農業のかたわら、海産物や農産物を売り歩く荷駄商いを^a行い、家計を支えた。28歳のとき、1847年に弘化の三閉伊一揆^aが起こった。これにかかわったかどうかは不明だが、34歳のとき、1853年に起こった^b嘉永の三閉伊一揆^bでは中心的な役割を果たした。

豪農の協力のもとに藩財政を立て直そうとする藩政改革と、多額の御用金賦課に反対した弘化の一揆の結果、盛岡藩主南部利済^{としただ}が隠居^cに追い込まれたが、藩の実権は利済が握ったまま、弘化一揆の成果は覆され、嘉永の一揆が起きることになる。一揆勢は「小〇」^dの職^{のほり}を押し立てて進み、途中で藩に荷担する関係者宅を打ちこわした上、隣^eの仙台藩領^eを目指した。2万人前後にふくれあがった一揆勢は、藩境近くになって半数を帰村させ、残りが仙台藩領^eに越境した。そこで仙台藩の役人に2つの願書を提出した。1つは、盛岡藩主の交代、あるいは、三閉伊地域を仙台藩領とするか幕府領とするかを求める願書（3か条）、もう1つは、盛岡藩政批判の願書（49か条）である。その後、一揆勢は命助を含む45人を残して他は帰村し、仙台藩を通じて交渉を続けた。その結果、前者の3か条は実現しなかったが、後者の願書に示された要求の多くが認められ、一揆の関係者を処罰しないことを盛岡藩に確約させて一揆は^e終結した。

命助は一揆後、翌1854年に起こった村方騒動の際、身の危険を感じて出奔し、修験者となって仙台藩領の当山派修験寺院に身を寄せた。1856年、本山の **B** 寺三宝院に修験者の免許を得ようと上京し、さらに、^f有力公家の二条家へ^f献金してその家来になる願書を提出した。翌年それを許された命助は、「二条家御用」と記した札^fを持って盛岡藩領に戻ってきたところを捕らえられ、投獄された。下記の〈史料〉は、1864年に牢死するまでに、命助が獄中で書いた家族宛の「獄中記」冒頭の一部分である。

〈史料〉

それ人間は、借り金出されば^(悪心)あぐ心^(起)を^(分)ごるなり。何にほど借り金出さ候とも、あぐ心^(分)を^(分)ごしべからじ。たとえば、何程借り金御座候とも、田地、諸事の品もの、有り合わせの^(分)ぶん渡し^(分)し心に相成り申候は、少も恐るゝに^(起)たらじ。尤、田地なくとも、日びに働^(働)ばしのぐものにて御座候間、全く^(比)びんぼう^(比)を恐るべからじ。ことによつては、田畑^(借)ををしみ、^(身)我^(罪)み出^(罪)ぼん^(罪)致人多く有也。誠に大あやまりに御座候。人間と田畑^(比)をくらぶれば、人間は三千年に一度^(咲)さく^(咲)*う^(咲)どん^(咲)花^(咲)なり。田畑は石川^(原)らの如し。石川^(原)らををしみ、う^(咲)どん^(咲)花^(咲)をしてるが如し。右の通り大あやまりを致しべからじ候。

*「うどん花」：優曇華。インド原産の実在の植物を指すこともあるが、ここでは、仏教でいう三千年に一度咲く想像上の植物を指す。

命助が再び盛岡藩領に戻ってきた目的を正確に知ることは難しいが、二条家を後ろ盾に、実現できなかった願書3か条を、1人で盛岡藩に訴えるためだったのではないかと考えられる。^hこの「獄中記」の冒頭部分には、波瀾万丈の人生を経験した命助の人間観が示されている。

問1 下線部 e のように、集団で他地域へ移動するという一揆の形態を何というか。漢字で記せ。

問2 空欄 **B** に該当する語を漢字で記せ。

問3 空欄 **A** に該当する語はどれか。一つ選べ。

ア 院内 イ 佐渡 ウ 生野 エ 石見 オ 別子

問4 下線部 a に関連して、江戸時代の百姓の生活についての説明で、正誤の正しい組み合わせはどれか。一つ選べ。

x 百姓とは農業を行う身分のことをいい、百姓が荷駄商いのようなことを行うのは東北地方に限られたことだった。

y 江戸時代後期、商品経済の利益は多くの百姓にも共有されたため、小作地は減少した。

z 歌舞伎をまねた地芝居、各地を巡回する芸能のほか、年中行事や民間信仰が百姓の娯楽であった。

ア x—正 y—正 z—正 イ x—正 y—正 z—誤 ウ x—正 y—誤 z—誤

エ x—誤 y—誤 z—誤 オ x—誤 y—誤 z—正 カ x—誤 y—正 z—正

問5 下線部 b より前に起こった出来事はどれか。すべて選べ。

ア 桜田門外の変 イ 池田屋事件 ウ ビッドルの来航

エ 日米修好通商条約調印 オ オランダ国王の開国勧告 カ ええじゃないか

問6 下線部 c のような、盛岡藩と同じ時期の19世紀に実施された藩政改革についての説明で、正しいものはどれか。一つ選べ。

ア 薩摩藩では、藩士の調所広郷が主導して黒砂糖の専売制を中止し、その利益を領民に分配した。

イ 佐賀藩では、藩主の鍋島直正が主導して均田制を実施し、百姓の経営再建をはかった。

ウ 熊本藩では、藩主の細川重賢が主導して質素儉約をすすめるとともに、検地を実施した。

エ 米沢藩では、藩主の佐竹義和が主導して林業など諸産業の振興をすすめた。

オ 岡山藩では、藩主の池田光政が主導して農政改革と新田開発をすすめた。

問7 下線部 d によって一揆勢は何を訴えようとしたのか。一つ選べ。

ア 盛岡藩の政策が盛岡藩領民を困窮させるものであることを訴えた。

イ 仙台藩の政策が盛岡藩領民を困窮させるものであることを訴えた。

ウ 盛岡藩の政策が仙台藩領民を困窮させるものであることを訴えた。

エ 盛岡藩主の転封が盛岡藩領民を困窮させるものであることを訴えた。

オ 幕府の政策が盛岡藩領民を困窮させるものであることを訴えた。

問8 下線部 f を含む近世の公家・朝廷に関する説明や出来事で、誤っているものはどれか。一つ選べ。

ア 吉田家は神職の免許状を発行した。

イ 土御門家は陰陽師の免許状を発行した。

ウ 朝廷内の公家が任命された武家伝奏は朝廷と幕府をつなぐ役割を担った。

エ 公家たちに尊王論を説いた竹内式部が処罰された。

オ 尊号一件のときの天皇は、徳川綱吉によって創設された閑院宮家の出身である。

問9 下線部 g のような者を何というか。一つ選べ。

ア 小作 イ 地借 ウ 店借 エ 無宿 オ 日用

問10 下線部 h に関連して、〈史料〉に記されていないことはどれか。一つ選べ。

ア 人間というのは借金をすると悪心を起こす。

イ 田地がなくとも毎日働けば生活はできる。

ウ 貧乏になることは恐ろしいことなので、田畑を手放してはいけない。

エ 人間は三千年に一度しか咲かない優曇華のような貴重な存在だ。

オ 田畑を売り惜しみ、人間が出奔するようなことは間違っている。

Ⅳ 次の文章を読み、問1～9に答えよ。問1～2はそれぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～9については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

文学作品には、時代や社会を映し出したものが少なくない。三人の女性の作家と作品を通して時代や社会とのかかわりを考えてみたい。

1872年に山梨県で生まれた樋口一葉は、士族の娘として育てられたが、身分制の解体は樋口家に大きな困難をもたらした。家計は急速に傾き、父と兄の死後、借金と家族の扶養を負った一葉は、女戸主として小説の執筆で生活をまかなおうとした。

一葉が小説を書いた1894年から翌年は、近代文学が花を開く時代にあっていた。貧しい暮らしのなかで庶民の生活をつぶさにみた一葉は、東京で暮らす、日のあたらぬ女性の生活を描いた。一葉の作品は、当時すでにドイツ留学を題材にした小説 **A** でデビューしていた森鷗外に認められた。それは、自らの人生を生きる女性の生き方、内面を描いたからであり、自我を対象にした近代文学に通じる面があったからである。ただし、一葉の執筆期間はわずか14か月であり、結核により24歳で夭折した。

1903年に生まれた林芙美子は、行商を営む両親と各地を転々としたが、10代のときに岡山県尾道市で生活が落ち着き、小学校を二年遅れで卒業、尾道高等女学校に通い、図書館の本を読みふけりながら夜は働き、卒業した。その後、上京して下足番、女給、女工、事務員などさまざまな職業で自活し、両親が上京してからは露天商を手伝った。林が生きた時代は不況に次ぐ不況の時代だった。1930年に発刊した『放浪記』は、手記のかたちをとり、時代に先駆けて自由に生きる若い女性を描いた自伝的小説であり、一大ベストセラーになった。男性中心社会のなかで、林は女性の大衆小説家として名声を得た。

満州事変から日中戦争に至る過程で言論と思想の統制が強まった。作家は、言いたいことを書かないか、戦争に協力するか岐路に立たされた。日中戦争が始まると、林は戦争に積極的に呼応し、1937年に新聞特派員として南京に赴き、漢口陥落後は男性作家に先駆けて漢口に一番乗りした。林が日中戦争の従軍記である『戦線』を1938年に発表すると、『放浪記』に次ぐベストセラーになった。林は、大衆の欲望に応える大衆小説家として、戦争に向かう時代には、先頭をきって戦争を支持する小説を書いたといっていだらう。戦後、林の全集が二回刊行された。理由は示されていないが、二回ともに『戦線』は収録されていない。

1926年生まれの子は、昭和の時代をまるまる生きた詩人である。1958年発刊の第二詩集『見えない配達夫』で、茨木は、さっそうと戦後の詩壇にあらわれた。茨木のもっとも知られた詩である「わたしが一番きれいだったとき」が、そこに収録されている。

「わたしが一番きれいだったとき
まわりの人達が沢山死んだ
工場で 海で 名もない島で
わたしはおしゃれのきっかけを落してしまった」
「わたしが一番きれいだったとき
わたしの国は戦争で負けた
そんな馬鹿なことってあるものか
ブラウスの腕をまくり卑屈な町をのし歩いた」

「おしゃれのきっかけを落してしまった」と「ブラウスの腕をまくり」の表現にみられるように、戦時と戦後の生活の変化が詩人の鮮やかな感性によってとらえられている。茨木は新しい感受性で詩の世界を表現した女性だった。

茨木は、その後もみずみずしい詩作を続けるとともに、1976年、50歳のときに朝鮮語を習い始め、朝鮮とのかかわり、人びとをよんだ詩をつくる。1982年の詩集『寸志』に収録された詩「隣国語の森」はそのひとつである。

「地図の上朝鮮国にくろぐろと墨をぬりつつ秋風を聴く

B の明治四十三年の歌

日本語がかつて蹴ちらそうとした隣国語

ハングル
한글

消そうとして決して消し去れなかった^{ハングル}한글」

茨木は、ハングルの「精髓」に「少しでも近づきたいと／あらゆる努力を払い／その美しい言語の森へと入ってゆきます」と書いた。戦後に初々しい感性で登場した茨木は、戦時と戦後だけを視野におさめて詩をつくっただけではなかった。昭和を生きた茨木は、日本と朝鮮の関係を含めて時代を生きようとしたのである。

問1 空欄 **A** にあてはまる語を、漢字で記せ。

問2 空欄 **B** にあてはまる姓名を、漢字で記せ。

問3 下線部 a の説明として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 明治政府は金禄公債証書を発行して、士族の家禄制度を全廃する秩禄処分を断行した。
- イ 政府は身分制の解体による四民平等をおし進めることで、国民皆兵による軍隊の整備を進めた。
- ウ 金禄公債証書で商売に手を出した士族は失敗する者が多く、士族の商法と呼ばれた。
- エ 身分制の解体は容易に進まず、士族の反乱や徴兵逃れがあらわれ、徴兵逃れがなくなるのは、日露戦争のあとからだった。
- オ 北海道の開拓のなかで、士族中心の屯田兵制度がつけられた。

問4 下線部 b に関連して、戦前の民法について、正誤の正しい組み合わせはどれか。一つ選べ。

- ① 戦前の民法は、お雇い外国人ボアソナードが起草したものが施行され、戦後の民法改正まで存続した。
 - ② 民法では、戸主権が強く、男性を優位におき、妻の権利はほとんど認められていなかったが、戸主には女性もなることができた。
 - ③ 民法の制定にあたっては、日本の伝統的な家族制度の理解をめぐる論争があった。
- ア ①—正 ②—誤 ③—正 イ ①—正 ②—正 ③—正 ウ ①—誤 ②—誤 ③—正
エ ①—正 ②—誤 ③—誤 オ ①—誤 ②—正 ③—正

問5 下線部 c について、正誤の正しい組み合わせはどれか。一つ選べ。

- ① 日露戦争後は、戦争による犠牲と負担、さらには重い税負担により、不況が続いた。
 - ② 第一次世界大戦による大戦景気のもとでも、物価が高騰したので、労働者や小作農民が生活難におちいった。
 - ③ 第一次世界大戦後、ヨーロッパ各国の輸出が再開されると、日本のアジア輸出が減少し、大戦景気から一転深刻な不況になった。
- ア ①—誤 ②—正 ③—正 イ ①—正 ②—正 ③—正 ウ ①—誤 ②—誤 ③—正
エ ①—正 ②—誤 ③—誤 オ ①—正 ②—誤 ③—正

問6 下線部 d の説明として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 治安維持法は、制定時から共産主義思想と自由主義思想を弾圧するためのものだった。
- イ 学問の自由が政府に大きく統制された例として、京都帝国大学教授滝川幸辰が休職処分にされた滝川事件があった。
- ウ 美濃部達吉の天皇機関説は、国体に反するとして軍部や貴族院で非難された。
- エ 日中戦争開戦後、大内兵衛・有沢広巳らの経済学者が検挙された。
- オ 津田左右吉の古代史研究の著作は、不敬罪にあたるとして攻撃を受け、発禁処分になった。

問7 下線部 e の時期にあたる、以下の①～④の文章を年代順に並べると、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ① 日本政府は、蒋介石の国民政府を「対手」にしないという声明を出した。
- ② 関東軍は、ソ連の機械化部隊に惨敗した。
- ③ 国民党と共産党の提携が実現し、抗日民族統一戦線が成立した。
- ④ 非戦闘員を含む多数の中国人が殺害された南京事件が起きた。

ア ②→③→①→④

イ ④→②→③→①

ウ ③→④→②→①

エ ③→④→①→②

オ ④→③→①→②

カ ③→①→④→②

問8 下線部 f の説明として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 戦時中は米が配給制になり、衣料は切符制になった。
- イ 戦時中には「ぜいたくは敵だ」というスローガンが出され、生活のきりつめが強要された。
- ウ 戦争末期には、日本本土だけでなく、大日本帝国の全域で生活水準が低下した。
- エ 食糧の統制や配給は、戦後すぐに解除されたものの、食料難、物資不足、通貨の乱発による激しいインフレーションで、生活は苦しかった。
- オ 戦後はGHQによる統制はあったものの、さまざまな雑誌や書籍が刊行され、解放感が広がった。

問9 下線部 g について、正誤の正しい組み合わせはどれか。一つ選べ。

- ① 1930年代後半の朝鮮では皇民化政策が進められ、日本語の使用が強制された。
- ② 戦後の日本本土に残った朝鮮出身者は、日本国籍を喪失し、日本人としての法的権利から除外された。
- ③ 韓国併合後の朝鮮では、土地調査事業と産米増殖計画によって農民が窮乏化し、日本に働き口を求める人が増えた。

ア ①—誤 ②—正 ③—正

イ ①—正 ②—正 ③—正

ウ ①—誤 ②—誤 ③—正

エ ①—正 ②—正 ③—誤

オ ①—正 ②—誤 ③—正

V 次の文章とそれに関連する史料は、2022年に高校生の山田マコトさんと佐藤ヒロミさんが、高校の授業の日本史で、日本国憲法について調べ学習をしていたときの会話と二人が選んだ史料である（史料は現代かなづかいに改めた）。これらの文章と史料を読み、問1～8に答えよ。問1～2はそれぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～8については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

マコト：日本史の教科書に載っている史料について調べる宿題が出たので、私たちは日本国憲法の前文を選んだ。

ヒロミ：まずは読んでみましょう。

〈史料〉

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類 **A** の原理であり、この憲法は、かかる原理に基づくものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思う。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いずれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであって、政治道徳の法則は、 **A** 的なものであり、この法則に従うことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立とうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓う。

マコト：久しぶりに読んでみたら、忘れていたり、よく知らなかったりしたこともあって、新しい発見がたくさんありそうだ。

ヒロミ：最初の段落を読むと、国民の信託や福利が強調されており、大日本帝国憲法とくらべて日本国憲法を位置づけているように読める。

マコト：そうそう。もうひとつ、「再び戦争の惨禍が起る」ことがないように、新しい日本国憲法をつくることが強調されていて、そこも印象に残った。

ヒロミ：今度は二つ目の段落にいきましょう。平和を維持するために「国際社会」で「名誉ある地位を占めたいと思う」と述べている。憲法は日本についてのものだと思っていたけど、「国際社会」がすごく強調されている。ここまで強調されているとは思わなかった。

マコト：私は世界の動きと日本国憲法の関係について調べてみた。1928年に **B** 条約が結ばれている。ドイツ、アメリカ、フランス、イギリス、インド、ポーランドなどと日本の15か国で結ばれた、世界ではじめての戦争放棄に関する条約です。この条約では、「国際紛争解決」で戦争に訴えない、「国家の政策」として戦争を放棄する、締結国間の紛争や紛議は「平和的手段」で解決することが定められた。多くの犠牲者を出した、はじめての世界大戦である第一次世界大戦をふまえ、二度と戦争をしないために、世界で初の戦争放棄の条約が結ばれた。憲法第九条一項には、「国際紛争を解決する手段」として「戦争」と「武力の行使」を放棄するとある。

B 条約は憲法にととても似ていてびっくりしたけど、この条約が憲法の源流のひとつになったことは間違いないと思う。世界の戦争と国際的な平和をめざす動きが憲法に大きくかかわっていたことがよくわかった。

ヒロミ：私は、日本の歴史にも憲法に通じるものがなかったか調べてみた。思っていた以上に、日本にかかわる歴史にも、戦争に反対したり平和を主張したりする動きがあり、この動きもまた憲法の下地になったのではないかと

思った。

マコト：憲法は、アメリカ中心の占領軍に押しつけられたという考えがあるけれど、それ以前の日本の歴史にも憲法に通じる動きがあったのは、とても大事なことだ。

ヒロミ：私は今話に出た占領軍と憲法のかかわりについても調べてみた。GHQには民生局というのがあって、そこにベアテ・シロタ・ゴードンという女性がいた。ベアテは、家族関係について定めた憲法第二四条をつくるのに尽力した人です。ベアテは、戦前の滞日十年の経験で、日本の女性の低い地位をよく知っていた。ベアテの映画『シロタ家の20世紀』を見た。ユダヤ人のシロター族は、第二次世界大戦中に強い迫害を受けた。20世紀における国際的な迫害や日本での女性の低い地位の理解をふまえて、ベアテは憲法第二四条の制定に尽力し、その尽力が憲法に反映した。憲法が占領軍に押し付けられたという意見は、憲法の歴史をきちんと調べずに言ってるんじゃないかな。

マコト：そうね。調べ学習をしてみて、平和や国際や A が強調されている憲法前文のことがよくわかった。

問1 空欄 A にあてはまる語を、漢字で記せ。

問2 空欄 B にあてはまる語を、漢字で記せ。

問3 下線部 a に関する説明として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 天皇の意志によって制定された欽定憲法である。
- イ 主権は天皇にあり、天皇は元首として、軍の統帥や条約の締結など、多くの権限を有した。
- ウ 天皇みずからが政治を行う親政は認められていなかった。
- エ 議会には貴族院と衆議院がおかれ、貴族院に強い権限が与えられていた。
- オ 天皇は、議会閉会中に法律にかわる緊急勅令を発布できた。

問4 下線部 b について説明した、以下の①～③の文章について、正誤の正しい組み合わせはどれか。一つ選べ。

- ① 内閣は、衆議院を母体として成立し、内閣総理大臣は、衆議院議員から選ばれる議院内閣制が実現した。
- ② 国民の基本的人権がはじめて認められた。
- ③ 司法権は、大日本帝国憲法では天皇の名のもとに認められていたのに対して、日本国憲法では独立が明記された。

- ア ①—正 ②—正 ③—正 イ ①—正 ②—誤 ③—誤 ウ ①—正 ②—誤 ③—正
エ ①—誤 ②—正 ③—正 オ ①—誤 ②—誤 ③—正

問5 下線部 c に関する説明として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 第一次世界大戦後、軍備縮小、安全保障による紛争の平和的解決などを掲げた国際連盟が創設され、日本はただちに参加したが、アメリカは最終的に参加しなかった。
- イ ベルサイユ体制のもとで、世界的に軍縮を進めるワシントン海軍軍縮条約やロンドン海軍軍縮条約などが結ばれた。
- ウ 第一次世界大戦後のベルサイユ条約は民族自決の原則をおし進め、アジアでは帝国主義からの独立をめざす民族独立運動が広がった。
- エ 帝国主義からの解放をめざす動きのなかで、インドでは、イギリスの植民地支配に対して、ガンディーによる非暴力・不服従の運動が行われた。
- オ 第二次世界大戦後、国際連盟にかわる国際連合が創設され、日本はサンフランシスコ条約締結と同時に加盟が認められた。

問6 下線部 d について説明した，以下の①～④の文章を年代順に並べると，正しいものはどれか。一つ選べ。

- ① 東洋経済新報社の石橋湛山は，シベリア出兵に反対した文章を書いた。
 - ② 戦争による解決を要求する主戦論に対し，キリスト教徒の内村鑑三や社会主義者が反戦論・非戦論を唱えた。
 - ③ 白樺派の民芸評論家である柳宗悦は，日本の朝鮮支配を批判し，三・一独立運動に理解を示した。
 - ④ 京都では，ヨーロッパの反ファシズム運動を詳しく紹介した雑誌『世界文化』が発行された。
- ア ③→②→④→① イ ①→②→③→④ ウ ②→③→④→①
エ ②→①→③→④ オ ①→③→②→④ カ ②→③→①→④

問7 下線部 e をふまえ，家族関係を定めた憲法第二四条の条文として正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 法律は，個人の尊厳と両性の本質的自由に立脚して，制定されなければならない。
- イ 法律は，個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して，制定されなければならない。
- ウ 法律は，個人の権利と両性の本質的平等に立脚して，制定されなければならない。
- エ 法律は，個人の権利と両性の本質的自由に立脚して，制定されなければならない。
- オ 法律は，個人の自由と両性の本質的平等に立脚して，制定されなければならない。

問8 〈史料〉に記されていないものをすべて選べ。

- ア どの国も自分の国のことだけに専念して他国を無視してはならないと述べている。
- イ 恒久平和を実現するためには，自由の確保が重要だと指摘している。
- ウ 全世界の国民が平和のうちに生存する権利を認められていると明記されている。
- エ 再び戦争の惨禍が起きないように，政府の役割が優先して強調されている。
- オ 日本国憲法では，主権が国民にあることが宣言されている。

[以下余白]

日本史

(記述解答用紙)

<2023 R05170015 (日本史)>

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

注意

1. 受験番号(算用数字)・氏名は指示に従ってただちに所定欄に記入し、それ以外に記入してはならない。
2. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
3. 解答はHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで書くこと。
4. 試験終了時には、この解答用紙を裏返して机の上に置き、指示を待つこと。

<2023 R05170015 (日本史)>

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

採点欄

(この欄に書き入れてはならない)

I

問1		
問2		

I

--

I

--

II

問7		
問8		天皇

II

--

II

--

III

問1		
問2		

III

--

III

--

IV

問1		
問2		

IV

--

IV

--

V

問1		
問2		

V

--

V

--